

レンズ交換式デジタルカメラ

取扱説明書

準備編

Eマウント

α

NEX-7



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。本書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

© 2011 Sony Corporation Printed in Thailand

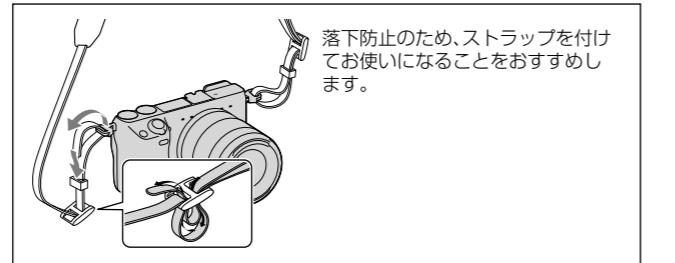
付属品を確認する

万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。()内は個数

- ・カメラ(1)
- ・バッテリーチャージャー BC-VW1 (1)
- ・リチャージャブルバッテリー パックNP-FW50 (1)
- ・USBケーブル(1)
- ・ショルダーストラップ(1)
- ・アイピースカップ(1)
- ・ボディキャップ(1)(本機に装着)
- ・アクセサリーシューキャップ (1)(本機に装着)
- ・クリーニングクロス(1)
- ・CD-ROM (1)
- αアプリケーションソフトウェア
- αハンドブック
- ・取扱説明書(準備編)(本書)(1)
- ・取扱説明書(操作編)(1)
- ・保証書(1)

NEX-7Kに付属

- ・E18-55mmズームレンズ(1)(レンズフロントキャップ、レンズリヤキャップ含む)(フロントキャップとレンズリヤキャップはレンズに装着されています)
- ・レンズフード(1)



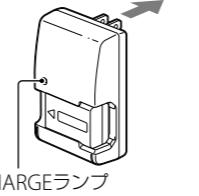
バッテリー(電池)を充電する

初めてお使いになるときは、「インオリチウム」バッテリー NP-FW50(付属)を必ず充電してください。「インオリチウム」バッテリーは、使い切らない状態でも充電できます。また、充電が完了していない状態で使用することもできます。

- 1 バッテリーをバッテリーチャージャーに入れて、充電する。

- ・充電が完了するとCHARGEランプが消える。

充電時間の目安 250分



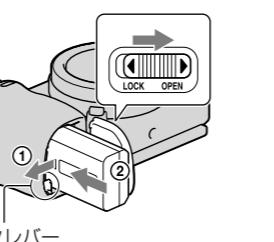
ご注意

- ・バッテリーの残量や、充電環境によって、充電時間は異なります。上記の目安は、バッテリーを使い切ってから温度25℃の環境下で充電した場合です。
- ・温度10℃～30℃の環境で充電すると、効率のよい充電ができます。
- ・バッテリーチャージャーを取り付けるときは、お手近なコンセントをお使いください。
- ・充電が完了してCHARGEランプが消えても電源からは遮断されません。使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ・充電したバッテリーは、使わなくても少しづつ放電しています。撮影機会を逃さないためにも、ご使用前に充電してください。

バッテリー(電池)を入れる

- 1 カバーを開けて、バッテリーを入れる。

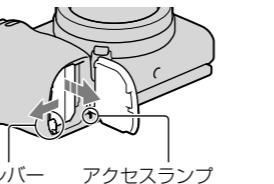
- ・バッテリーの端でロックレバーを押しながら入れる。



- 2 カバーを閉じる。

バッテリーを取り出す

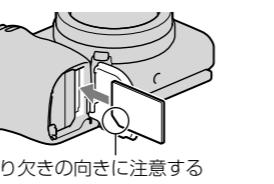
電源を切り、アクセランプが点灯していないことを確認し、ロックレバーをすりながら、バッテリーを引き出す。



メモリーカード(別売)を入れる

- 1 イラストの向きに合わせ、メモリーカードを入れる。

- ・「カチッ」と音がするまで奥に差し込む。



使用できるメモリーカード

本機で使用できるメモリーカードは、以下の通りです。ただし、すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。

対応メモリーカード	静止画	動画	本書での表現
メモリースティック PRO デュオ	○	○(Mark2のみ)	メモリースティック PRO デュオ
メモリースティック PRO-HG デュオ	○	○	
SDメモリーカード	○	○(Class 4以上)	SDカード
SDHCメモリーカード	○	○(Class 4以上)	
SDXCメモリーカード	○	○(Class 4以上)	

- ・マルチメディアカードは使用できません。

メモリーカードを取り出す

カバーを開けて、アクセランプが点灯していないことを確認し、メモリーカードを1度押す。

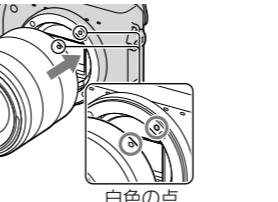
- ・アクセランプ点灯中は、絶対にメモリーカードを取り出したり、バッテリーを取りはずしたり、電源を切ったりしないでください。データが壊れることがあります。

レンズを取り付ける/はずす

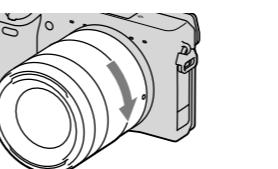
レンズの取り付け/取りはずしは、本機の電源を「OFF」にしてから行ってください。

- 1 レンズと本機の2つの白色の点を合わせてはめ込む。

- ・ゴミやほこりが入らないよう、マウントを下向きにして取り付ける。



- 2 レンズを軽く本機に押し付けながら、「カチッ」と音がするまで矢印の方向にゆっくり回す。

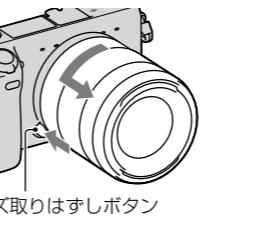


ご注意

- ・レンズを取り付けるときは、レンズ取りはずしボタンを押さないでください。
- ・レンズに無理な力を加えないでください。
- ・Aマウントレンズ(別売)をご使用の場合は、マウントアダプター(別売)が必要です。詳しくはマウントアダプターの取扱説明書をご覧ください。

レンズを取りはずす

- 1 レンズ取りはずしボタンを押しながら、レンズを矢印の方向に止まるまで回して取りはずす。



ご注意

- ・レンズ交換の際に、カメラ内にゴミやほこりが入ってイメージセンサー(フィルムの役割を果す部分)表面に付着すると、撮影条件によっては、ゴミやほこりが画像に写り込むことがあります。本機はアンチダスト機能により電源オフ時に本機が少し振動し、ゴミやほこりが付きにくくなっていますが、レンズの取り付け/取りはずしを行う際は、ほこりの少ない場所で素早く行ってください。

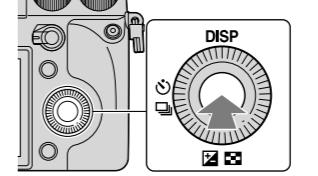
時計を合わせる

初めて電源を入れたときは、日時設定の画面が表示されます。

- 1 電源スイッチを「ON」にして、電源を入れる。

日時設定を要求する画面になる。

- 2 コントロールホイールの中央を押し、[OK]する。



- 3 「東京/ソウル」が選ばれていることを確認し、コントロールホイールの中央を押す。

- 4 コントロールホイールの左右で項目を選び、上下または回して数値を設定する。

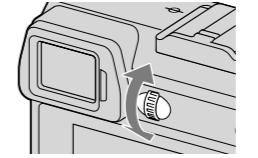
・真夜中は12:00AM、正午は12:00PMとなる。

- 5 すべての設定が終わったら、コントロールホイールの中央を押す。

ファインダーの見えかたを調整する(視度調整)

ファインダー内の画面表示がはっきり見えるように、視力に合わせて調整してください。

- 1 視度調整ダイヤルを回す。

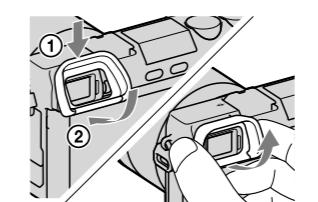


アイピースカップを付ける/はずす

ファインダーで撮影するときは、アイピースカップを取り付けることをおすすめします。

- 1 アイピースカップの上の部分をファインダーに当てて、下にはめ込む。

- ・はずときは、左右を持って引き上げる。



ご注意

- ・アクセサリーシューアダプターを取り付けるときは、アイピースカップをはずしてください。

ソフウェアをインストールする

本機で撮影した画像をいろいろ活用いただくために、CD-ROM(付属)には以下のソフトウェアが収録されています。

- ・「Image Data Converter」 RAW画像の編集などができます。
- ・「PMB」(Picture Motion Browser)(Windowsのみ) 画像をパソコンに取り込む、カレンダー上に表示するなどの画像編集ができます。

ご注意

- ・PMBをすでにインストールしているパソコンで、付属のCD-ROMのバージョンより小さい番号をご使用の場合は、付属のCD-ROMからもインストールしてください。

Windows

付属ソフトウェアを使ったり、USB接続で画像を取り込んだりするには、下記の推奨環境が必要です。

OS(工場出荷時にインストールされていること)	Microsoft Windows XP* SP3/Windows Vista SP2/Windows 7 SP1
-------------------------	-----------------------------------------------------------

「PMB」使用時

CPU : Intel Pentium III 800 MHz以上 (HD動画再生・編集時はIntel Core Duo 1.66 GHz以上、Intel Core 2 Duo 1.66 GHz以上、Intel Core 2 Duo 2.26 GHz以上(HD FX/HD FH)、Intel Core 2 Duo 2.40 GHz以上(HD PS))
メモリ : 512 MB以上(HD動画再生・編集時は1 GB以上)
インストール時に必要なハードディスク容量 : 約500 MB
ディスプレイ : 1024×768ドット以上

* 64bit版は除きます。ディスク作成機能のご使用には、Windows Image Mastering API (IMAPI) Ver.2.0以上が必要です。

1 CD-ROM(付属)をディスクドライブに入れ、画面の指示に従ってインストールする。

Macintosh

付属ソフトウェアを使ったり、USB接続で画像を取り込んだりするには、下記の推奨環境が必要です。

OS(工場出荷時にインストールされていること)	USB接続 : Mac OS X(v10.3～v10.6) 「Image Data Converter Ver.4」 : Mac OS X v10.5/Mac OS X v10.6 (Snow Leopard)
「Image Data Converter Ver.4」使用時	CPU : Intel Core Solo/Core Duo/Core2 Duoなどのインテルプロセッサー メモリ : 1 GB以上を推奨 ディスプレイ : 1024×768ドット以上

1 CD-ROM(付属)をディスクドライブに入れ、CD-ROMアイコンをダブルクリックする。

2 [MAC] フォルダの中の[IDS_INST.pkg]を任意のフォルダにコピーする。

3 コピー先のフォルダの中の[IDS_INST.pkg]をダブルクリックする。

・以降、画面の指示に従ってインストールを進め、完了する。

使用上のご注意

表示言語について

本機は日本語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。

クリーニングクロスについて

クロスのクリーニング面の大きなゴミは取り除いてから拭いてください。

本機搭載の機能について

本機で撮影した3D画像を3D対応モニターでご覧になる場合、眼の疲労、疲れ、気分が悪くなるなどの不快な症状が出ることがあります。3D画像を観るときは、定期的に休憩とすることをおすすめします。必要な休憩の長さや頻度は個人差がありますので、ご自身で判断してください。不快な症状が出たときは、回復するまで3D画像の観察をやめ、必要に応じて医師にご相談ください。本機に接続する機器やソフトウェアの取扱説明書もあわせてご覧ください。なお、お子様の(特に3歳未満の幼児)の視覚は発達段階にあります。お子様が3D画像を鑑賞する前に、小児科や眼科などの医師にご相談ください。大人の方たちは、お子様を守るために監督してください。

液晶モニターおよびレンズについてのご注意

液晶モニターは有効画素99.99%以上の非常に高精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。

・液晶モニターの裏には磁石が設置されています。フロッピーディスクやクリエジットカードなど磁気の影響を受ける物を挟まないでください。

・寒いところで使うと、画像が尾を引いて見えることがあります。故障ではありません。また、初回は画面が通常よりも少し暗くなります。

・直射日光の当たる場所に放置しないでください。太陽光が近くの物に結像すると、火災の原因となります。やむを得ず直射日光下に置く場合は、レンズフロントキャップを付けてください。

レンズとアクセサリーについてのご注意

本機には、カメラの特性に適合するように設計されたソニー製レンズ/アクセサリーのご使用をおすすめします。他社製品と組み合わせて使用した際の性能や、それによって生じた事故や故障につきましては保証いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

使用/保管してはいけない場所

- ・異常に高温になる場所
炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- ・直射日光の当たる場所、熱器具の近くでの保管
変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
- ・激しい振動のある場所
- ・強力な磁気のある場所
- ・砂地、沙浜などの砂ぼこりの多い場所
海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

本機の温度について

本機を連続して使用した場合、本体やバッテリーが温くなることがあります、故障ではありません。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。

結露を起こさないために

本機を寒い所から急に暖かい所へ持ち込むときは、ビニール袋に本機を入れて、空気が入らないように密閉してください。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

結露が起きたときは

電源を切って結露がなくなるまで約1時間放置し、結露がなくなつてからお使いください。特にレンズの内側に付いた結露が残ったまま撮影すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

内蔵の充電式バッテリーパックについて

本機は日時や各種の設定を電源の入/切や電池の有無に関係なく保持するために充電式バッテリーパックを内蔵しています。充電式バッテリーパックは本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電しきか月程度まったく使わないで完全に放電してしまいます。充電してから使用してください。ただし、充電式バッテリーパックを充電していない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことができます。バッテリーパックのたびにリセットされる場合は、内蔵充電式バッテリーパック電池が消耗している場合があります。ソニーの相談窓口にお問い合わせください。

内蔵の充電式バッテリーパックの充電方法

本機に充電されたバッテリーやACアダプター（別売）を使ってコンセントにつないで、本機の電源を切ったまま24時間以上放置してください。

メモリーカードを廃棄/譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、メモリーカード内のデータは完全には消去されないことがあります。メモリーカードを譲渡するときは、パソコンのデータ消去用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。また、メモリーカードを廃棄するときは、メモリーカード本体を物理的に破壊することをおすすめします。

撮影・再生に際してのご注意

- ・メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機で初めてお使いになる場合は、まず、本機でフォーマットすることをおすすめします。フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどで保存しておいてください。
- ・長時間、画像の撮影や消去を繰り返しているメモリーカード内のファイルが断片化（フラグメントーション）して、動画記録が途中で停止してしまう場合があります。このような場合は、パソコンなどに画像を保存したあと、「フォーマット」を行ってください。
- ・万一、カメラやメモリーカードなどの不具合により撮影や再生がされなかつた場合、画像などの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- ・万一の誤消去や破損にぞなえ、必ず予備のデータコピー（バックアップ）をおとりください。
- ・必ず事前にためし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。
- ・本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。
- ・カメラを太陽など強烈な光へ向けないでください。内部の部品が破損するおそれがあります。
- ・強力な電波を出すところや放射線のある場所で使わないでください。正しく撮影・再生ができないことがあります。
- ・本機に振動や衝撃を与えないでください。誤作動したり、画像が記録できなくなるだけでなく、メモリーカードが使えなくなったり、撮影済みの画像データが壊れることがあります。
- ・フラッシュの表面の汚れやゴミは、柔らかい布などを使ってきれいにしてください。発光による熱でフラッシュ表面の付着物が発煙したり、焦げる場合があります。
- ・本機や付属品などは乳幼児の手の届く場所に置かないでください。メモリーカードなどを飲みこむおそれがあります。万一飲みこんだ場合は、直ちに医師に相談してください。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があつても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

本書中のデータについて

性能、仕様に関するデータは特に記載のある場合を除き、すべて常温(25°C)、チャージランプ消灯後、約1時間充電したバッテリー使用時のものです。

保証書とアフターサービス

必ずお読みください

記録内容の補償はできません

万一本体やメモリーカードなどの不具合などにより記録や再生されなかつた場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このカタログは国内仕様です。国外で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- ・この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- ・所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときは必ずチェックを

「操作編」の「故障かな?と思ったら」の項を参考にして故障かどうかお調べください。それでも具合の悪いときはソニーの相談窓口にご相談ください(「操作編」の裏表紙)。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

部品の保有期間について

当社はカメラの修繕用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後7年間保有しています。

商標について

・はソニー株式会社の商標です。

- ・"Memory Stick"、"メモリースティック"、、"Memory Stick PRO"、"メモリースティック PRO"、"MEMORY STICK DUO"、"Memory Stick Duo"、"メモリースティックデュオ"、"MEMORY STICK PRO DUO"、"Memory Stick PRO-HG Duo"、"メモリースティック PRO-HG デュオ"、"MEMORY STICK PRO-HG Duo"、"メモリースティックマイクロ"、"MagicGate"、"マジックゲート" および はソニー株式会社の商標です。

・"InfoLITHIUM (インフォリチウム)"は、ソニー株式会社の商標です。

・"ブレビア プレミアムアム"は、ソニー株式会社の商標です。

・DVDirectは、ソニー株式会社の商標です。

・Blu-ray Disc™ および Blu-ray™ はブルーレイディスクアソシエーションの商標です。

・AVCHD ProgressiveおよびAVCHD Progressiveロゴは、ソニー株式会社とパナソニック株式会社の商標です。

・Dolby、ドルビー、およびDolbyの記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

・Microsoft、Windows、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国および他の国における登録商標または商標です。

・HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

・Macintosh、Mac OSはApple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。

・PowerPCは、米国におけるIBM Corporationの登録商標です。

・Intel、Intel Core、PentiumはIntel Corporationの登録商標または商標です。

・SDXCロゴは、SD-3C, LLCの商標です。

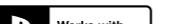
・Eye-FiはEye-Fi, Inc.の商標です。

・MultiMediaCardは、MultiMediaCard Associationの商標です。

・「プレステーション3」は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商品です。また、、「PlayStation」およびPlayStationは同社の登録商標です。

・AdobeはAdobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

・その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していません。



・"Works with PlayStation 3" ロゴは、特定のPlayStation 3専用ソフトウェアと連携することで、さらなる楽しみを提供する製品につけるマークです。



Progressive

⚠️ 警告 安全のために

誤った使いかたをしたときに生じる感電や傷害などへの危害、また火災などの財産への損害を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。



「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、電源コードに傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラやACアダプター、バッテリーチャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐにソニーの相談窓口へご相談ください。

万一、異常が起きたら

- ① 電源を切る
- ② 電池をはずす
- ③ ソニーの相談窓口に連絡する

△ 危険 万一、電池の液漏れが起きたら

- ① すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や液体に引火して発火、破裂のおそれがあります。
- ② 液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。

△ 危険 行為を禁止する記号

- 禁
火災
- 禁
感電

△ 危険 行為を指示する記号

- 禁
火災
- 禁
分解禁止
- 禁
ねれ手禁止

△ 危険 電池について

安全のために文中の「電池」とは、「バッテリーパック」も含みます。

安全のために

⚠️ 警告 下記の注意事項を守らないと、火災、大けがや死亡にいたる危険が発生することがあります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理はソニーの相談窓口にご依頼ください。

△ 危険 内部に水や異物(金属類や燃えやすい物など)を入れない

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。ACアダプターやバッテリーチャージャーなどもコンセントから抜いて、ソニーの相談窓口にご相談ください。

△ 危険 運転中に使用しない

自動車、オートバイなどの運転しながら、撮影、再生をしたり、液晶画面を見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。

△ 危険 撮影時は周囲の状況に注意をはらう

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。

△ 危険 指定以外の電池、ACアダプター、バッテリーチャージャーを使わない

火災やけがの原因となることがあります。

△ 危険 機器本体や付属品、メモリーカードは、乳幼児の手の届く場所に置かない

電池などの付属品や、メモリーカードなどを飲み込むおそれがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬよう注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

△ 危険 電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付ける

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。

△ 危険 電源コードを傷つけない

熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、電源コードを抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずラグを持って抜いてください。

△ 危険 可燃性/爆発性ガスのある場所でフラッシュを使用しない

太陽光が近くの物に当たると、火災の原因になります。やむを得ず直射日光下に置く場合は、レンズキャップを付けてください。

フラッシュやAF補助光などの撮影補助光を至近距離で人に向けて



禁
止

⚠️ 警告 安全のため

この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。



⚠️ 危険 「安全のために」